

会議録

会議の名称	令和3年度 第2回登米市上下水道運営審議会
開催日時	令和3年10月25日(月) 13時30分開会 16時10分閉会
開催場所	登米総合体育館 1階 会議室
座長(議長)	会長 山田 一裕
出席者(理事)の氏名	大森敏雄委員、菅原昭委員、千葉貞雄委員、千葉信子委員、伊藤秀雄委員、及川由美子委員、木村千代委員、佐藤雅子委員 以上9名
欠席者(理事)の氏名	鈴木郁子委員、今野秀敏委員、岡本哲志委員 以上3名
事務局職員職氏名	上下水道部長 佐藤嘉浩、次長 千葉智浩、 (経営総務課) 細川経営総務課長、佐々木課長補佐、菅原係長、 松井主幹、千葉主幹、及川主査 (水道施設課) 鈴木水道施設課長、鈴木課長補佐 (下水道施設課長) 千葉下水道施設課長、杉田課長補佐 以上12名
議 題	1 開 会 2 挨拶 3 会 議 (1) 会議録署名人の選任 (2) 水道料金及び下水道使用料等あり方の検討について (水道事業の現状と水道料金算定について) (3) 施設統廃合計画について (4) 下水道事業キャラクター愛称の選考について 4 その他
会議結果	別紙のとおり
会議経過	別紙のとおり

会 議 資 料

- ・資料 1 登米市上下水道事業運営審議会委員名簿
- ・資料 2 水道料金及び下水道使用料等あり方の検討について  
(水道事業の現状と水道料金算定について)
- ・資料 3-1 保呂羽浄水場再構築事業について
- ・資料 3-2 施設統廃合計画(素案)について
- ・資料 4 下水道事業キャラクター愛称の選考について
- ・資料 5 今後の審議会予定について

《参考資料》

- 令和 2 年度 登米市水道事業会計 決算書
- 令和 2 年度 登米市水道事業会計 決算統計資料
- 登米市水道事業業務指標 ( P I )
- 水道事業の現状 ( 経営分析 )
- 登米市水道事業料金算定要領 ( 案 )
- 第 1 回登米市上下水道事業運営審議会 会議録

## 別紙

発言者	発言要旨
【1 開会】	
会議資料の確認後、開会を宣言。	
【2 挨拶】	
<p>午前中の現地視察に参加いただきありがとうございました。上水道事業、下水道事業の代表的な施設を見学し、どのように運営されてるか、或いはどのような施設があるのかご理解いただいています。</p> <p>表面的には見えてない運営金額や技術的な問題は、今後会議の中で、議論することも増えてきますので、ぜひ忌憚のないご意見いただきながら審議を進めていきたいと思うので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>	
【3 会議】	
(1) 会議録署名人の選任	
事務局	審議会条例第6条の規定により、山田会長に議長を依頼。
会長	本日の会議は委員9名の出席で過半数を満たしており、審議会条例第6条第2項により、会議が成立することをご報告
会長	<p>会長が委員名簿順に従い、木村委員と佐藤委員を指名し了承を得た。</p> <p>審議会の公開並びに傍聴、会議録の開示掲載については、登米市審議会等の会議の公開に関する指針第4条並びに第7条の規定により、傍聴席の設置と会議録をホームページに掲載すること説明。</p>
(2) 水道料金及び下水道使用料等あり方の検討について (水道事業の現状と水道料金算定について)	
会長	「水道事業の現状と水道料金算定について」事務局に説明を求めた。
事務局	(資料2に基づき説明を行う)
会長	水道事業の現状と水道料金算定について、質疑を伺った。
委員	本年度の借入れが3億7,100万円だが、管路の経過が40年たった物の更新に対して、国からの補助金を利用できると思うが、管路更新率0.7%ではどのくらい費用が掛かっているか。
事務局	<p>管路更新の費用は、補助事業の管路緊急改善事業が年間約5億5,000万円、内部留保資金と起債などを使い、毎年約10億円更新している。計画では、今後平均6億7,000万円程度を見込むが、単価上昇を考慮すると管路更新と機器整備に併せて、年間9億円から14億円程度が必要と考えている。</p> <p>管路更新率が0.7%と低く見えるが、口径の大きい基幹管路から更新を行っているため、今後は口径が小さい管路更新を行うことで更新率が増える見込みである。昨年は、約8.5kmを更新した。</p>
委員	料金体系の種類について、同規模団体の料金体系の資料があれば、お知らせいただきたい。
事務局	同規模団体の資料については、次回以降に示す予定である。

委員	配水管 100m当たりの給水人口は 5.4 人だが、経営が成り立つ人数は何人が。
事務局	100m当たりの給水人口が減少すると水道料金が減収となる。経営が成り立つ人数は、多くの要因があるため断言できない。経営の持続は料金の減収に見合った料金の値上げを行わなければ、経営が成り立たないと考えている。今後はダウンサイジングを行うなど工夫が必要である。
委員	固定費の人件費は、今後も現実的に減らすことが出来るのか。
事務局	人員削減は、平成 17 年の市町村合併時の約 50 人から包括的外部委託や民間委託等を進め半減している状況である。一部の指標において職員数が多く見えるが、災害対応や漏水等の危機管理を考えると、削減は限界を迎えていると考えている。
委員	口径に応じた料金設定について再度教えて欲しい。
事務局	登米市の水道料金は口径別、基本水量なし、段階的逦増制の二部料金制を採用している。基本料金は、口径 13 ミリと 20 ミリは同一である。そのほかは口径ごとに料金を定めている。従量料金は使用水量区分ごとに定めている。 設定方法は、全体の費用を算出し、料金を算定する総括原価方式を採用している。 逦増制は使うほど単価が高くなる方式であり、使用水量抑制型で、水資源の保護や高い水需要であったため、浄水施設の負担軽減を図る目的で逦増制を採用している。
委員	登米市の水圧について、ある地区では水圧が低すぎて消火栓の意味がないように感じる。対応をお願いしたい。
事務局	地形条件によっては水圧に差があるが、厚生労働省の基準に基づき、配水管から家庭に引き込まれる給水管での圧力は 0.15Mpa 以上と定めている。支障箇所についてすぐに確認したい。
委員	経営戦略において令和 5 年度に料金改定し、令和 9 年に累積欠損金の解消を計画しているが、新型コロナウイルスの影響もあり負担が大きいと考える。先延ばしを検討しているか。
事務局	経営戦略での計画は令和 4 年度に改定を予定していたが、今後のコロナの影響もあり、令和 5 年度の改定と先延ばしを検討している。
会長	水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会が別組織で立ち上がり会議を行っているが、この上下水道事業運営審議会でも同じような検討を行うのか。関係性を確認したい。
事務局	料金のあり方検討委員会は、各分野の専門の皆さんにその見地から、料金等のあり方について検討して頂いている。審議会は市民の皆様や需要家の皆様のご意見を頂き、意見を反映させるため並行して進めたい。

<b>(3) 施設統廃合計画について</b>	
会長	「施設統廃合計画について」事務局に説明を求めた。
事務局	(資料3-1、資料3-2に基づき説明を行う)
委員	資料の2ページ目、これは何のコストを示しているのか。
事務局	浄水場ごとの電力費や薬品費など配水量の1 m <sup>3</sup> 当たりのランニングコストである。
委員	大萱沢浄水場で検討している新たに作るバックアップ用の井戸の規模はどの位か。
事務局	現在ある予備水源用の井戸と同規模のものを検討している。
<b>(4) 下水道事業キャラクター愛称の選考について</b>	
会長	「下水道事業キャラクター愛称の選考について」事務局に説明を求めた。
事務局	(資料4に基づき説明を行う)
委員	下水道事業キャラクターを決定する際、事務局側の選考の考え方は。
事務局	下水道事業キャラクターを考えた際、水道事業キャラクターを上下水道事業キャラクターとする案もあったが、下水道事業への理解度向上を目的に、別のキャラクターを作成することとなった。 水道事業キャラクターとの違和感がないように、水道事業キャラクターをご寄贈いただいた方に作成を依頼し、ご寄贈頂いた。
委員	商標登録はクリアしているか。
事務局	インターネット等で確認済みである。
事務局	109件の応募数があり、委員の皆さんからの選考により5つまで案を絞り込んだが、委員皆様が良ければ、再度全ての作品から再度ご検討いただきたい。
会長	皆さんから順位を頂いてきた経過もある。応募一覧109件あるものも含め、下水道の果たす役割や機能から価値などを表現できるよう、再度選び直すことも可能ではないか。
委員	了承し応募一覧から再度選出。 下水道事業キャラクターのために作られた造語であることや水循環を考えた時に「水守」(みもる)くんを、ジェンダーフリーの表現方法の「さん」に変更し、「水守さん」で決定し最優秀作品とした。
<b>【5 その他】</b>	
事務局	(資料5「今後の審議会の予定」の資料説明)
<b>【6 閉会】</b>	
大森副会長	本日は長時間お疲れ様でした。コロナも終息に向かっており、これからいろいろできるようになってくると思う。次回の審議会もよろしく願いたい。